

平成27年度 平野区予算の概要

平野区では、将来ビジョンで掲げる「人と人が つながり支えあうまち こどもから高齢者まですべての人の笑顔が輝くまち ひらの」の実現をめざしています。その実現のために重点的な取組みとして、サポートなどの支援が必要な方が身近なところで相談できるよう、「地域福祉活動コーディネーター」への活動支援などを行い、地域と連携した地域福祉力の向上に努めます。また、防犯対策として、通学路などの安全確保や街頭犯罪の撲滅に向けた防犯カメラの設置、防災対策として、防災サポーターを配置し、地域の中心となる防災リーダーの育成や、地域別防災計画の策定、近い将来想定される南海トラフ沖地震に備え、平野区独自の備蓄物資や資機材を確保するなど、区民の安全・安心なくらしを支えるための予算を中心に編成しました。

1 地域に応じた安全・安心のまちづくり

【地域防災力の向上】

平野区の総合的な防災施策について、消防署や関係機関と連携し、災害時の市民の安全確保や区役所の防災機能の強化を図ります。また、防災サポーターを配置し、防災リーダーの育成など、地域・企業・行政が連携した取組みを行い、地域防災力の向上に努めます。

●災害に強いまちづくり推進事業 (2,148万円)

→出前講座や防災訓練の実施、防災イベントの開催、防災リーダーの育成、備蓄物資や防災用品の調達、防災サポーターの配置などにより、地域防災力を高める。

●協働型地域防犯・防災事業 (1,306万円)

→防犯・防災の取組みを地域と協働することで各地域における課題の共有・解決方法を検討・実施し、地域の防犯体制や災害時の共助体制を維持・構築する。



【地域防犯力の向上】

街頭犯罪のさらなる減少をめざし、地域や事業者、警察、関係機関との連携を強め、青色防犯パトロールや見守り隊をはじめとする地域の防犯ネットワークの維持・拡充に努めます。また、通学路などへ防犯カメラを設置するほか、防犯の視点から、放置自転車問題に対しても、市民や企業などと行政が協働で取り組みます。

●地域安全見守り防犯カメラ設置事業 (700万円)

→街頭犯罪の減少が期待できる箇所へ防犯カメラを設置することにより、地域の安全を見守るとともに街頭犯罪発生件数の減少をめざす。

●市民協働型自転車利用適正化事業「Do!プラン」(695万円)

→放置自転車対策について、市民や企業等と行政が協働し地域主体の取組みを推進する。また、自転車窃盗防止対策として、シリンダー錠取付キャンペーンなどを行う。

●放置自転車対策事業(区CM自由経費 640万円)

→放置自転車の削減を図るため、引き続き自転車駐車場の増設・改良等を行う。また、既設の自転車駐車場の維持管理のため、補修工事を行う。



人と人がつながり支えあうまち こどもから高齢者まで すべての人の笑顔が輝くまち ひらの の実現をめざして

区長自由経費(区独自予算) 5億1,852万円
(※平成26年度予算 4億9,090万円)

区役所に財源配分され、区で事業執行を行う経費

主な事業 子育て支援、防災・防犯関係経費、区庁舎設備維持経費、区役所附設会館管理運営費など

区シティ・マネージャー自由経費(区CM自由経費) 9億2,591万円
(※平成26年度予算 9億7,187万円)

局に財源配分されるが、地域事情や特性に応じた施策を実施するため区シティ・マネージャーとしての区長が調整を行う経費

主な事業 道路・公園などの維持補修、スポーツ施設指定管理代行料など

平成27年度平野区予算 14億4,443万円
(※平成26年度予算 14億6,277万円)

※区長自由経費と区CM自由経費の合計です。

2 健やかでいきいきと暮らせるまちづくり

【地域福祉力の向上】

高齢者や障がい者、子育て世代など、支援が必要な方がお住まいの地域の身近なところで相談できるよう、「地域福祉活動コーディネーター」を配置するなど、地域での「見守り」や「支えあい」をより強固なものとするための仕組みを充実します。また、こうした各地域でのさまざまな取組みを通して地域福祉力の向上に努めます。

●各地域の特性に応じた地域福祉支援体制の構築 (7,189万円 うち区政充実予算2,398万円)

→地域福祉活動コーディネーターを中心として、身近な相談窓口として、つながり見守るセーフティネットの確立に向けて、地域住民の皆さんと連携して取り組む。

●発達障がいサポート事業(736万円)

→市立の小中学校に在籍する発達障がい等のある児童生徒に対して、学校生活上の行動面における適切なサポートを行うことにより、児童生徒の健全な育成をめざす。

●高齢者・障がい者への相談体制の充実(287万円)

→高齢者・障がい者虐待事例の早期解決や未然防止のために、相談支援機関の相談機能の充実を図る。



3 こどもと地域を元気にするまちづくり

【地域活動力の向上】

主体的な地域運営の仕組みである地域活動協議会の活動に対する補助を行うなど、地域の活動への支援や、市民相互の交流を促進し、連帯感あふれるまちづくりを行うため、「区民まつり」をはじめとしたコミュニティの育成や、地域活動における新たな人材の確保と育成のため、若い世代の方に、地域活動への参加を促進するための取組みを行います。

●地域活動協議会補助金 (5,212万円)

→地域活動協議会の地域における活動に対して、補助金を交付することにより活動を継続して実施できるように支援する。

●コミュニティ育成事業 (805万円)

→区民まつりや「平野区いろはかるた」を使った事業などを、区民並びに地域活動団体等が幅広く参画する協働型の仕組みで実施し、市民相互の交流を促進する。

●若い世代によるチャレンジを支援する事業(118万円) **新規事業**

→地域活性化の視点から、こどもが参加できるイベント等の実施を企画段階から若い世代に担ってもらうことで、地域活動への参加を促進し、新たな担い手の発掘・育成をめざす。



【こどもの生きる力の向上】

こどもたちの「生きる力」につながる確かな基礎学力の向上のため、放課後などにこどもの学習をサポートします。また、外遊びなどを通じた豊かな人間性をしっかりと身につけてもらえるよう、区民と協働で「遊び体験」の取組みを行い、総合的なこどもたちの学びを支援します。

●平野区こども学力サポート事業 (746万円 うち区政充実予算401万円)

→区内の小中学校において、放課後等に大学生等の地域人材からなる指導員を派遣し、こどもたちのコミュニケーション能力や読解力をはじめとした基礎学力の向上とあわせて、地域の若手人材の育成もめざす。

●外遊びを通してこどもたちを元気にするまちづくり推進事業(266万円) **新規事業**

→地域ぐるみでこどもの健やかな成長を支援できるよう、地域と連携しながらこどもたちが外で元気に遊べる環境づくりを行う。

